

121206 ツルリンドウの実

日に日に寒さが増し、彩りの少なくなってきた山頂草原ですが、隣接する林縁部の木陰を見ると...

まるでサクランボのような、瑞々しい真っ赤な果実が空に向かって実っていたのです！
一体何の実でしょうか？

以前、「リンドウ」の花を紹介したときに、「ツルリンドウ」の写真の解説として次のような一文を添えました。

『鮮やかな花色の「リンドウ」に比べて、控えめな淡い紫色の花ですが、冬に熟す実は赤くてよく目立ちます。』

【121015 リンドウ】

<http://www.pref.osaka.jp/attach/15501/00099022/121015rindou.pdf>

そうです、この実は「ツルリンドウ」の実なのです！

花のときに比べて格段のインパクトがありますね。

一方、秋の草原のところどころで、青紫色の花を咲かせて異彩を放っていた「リンドウ」というと...

既に多くは枯れてしまっていて見つけることは困難な状況でしたが、数は少ないものの、まだ「つぼみ」が残っている株もありました。

雪がちらつき、霜も降りる季節となりましたが、果たして無事に開花、結実するのでしょうか？

写真 ・ : ツルリンドウの実 【撮影：12月初旬】

写真 : ツルリンドウの花 【撮影：9月上旬】

写真 ~ : リンドウ 【撮影：12月初旬】











